

遠距離輸送に対応したりんどうの鮮度保持技術

【1 成果概要】

遠距離輸送に対応したりんどうの鮮度保持技術は以下のとおりです。

技術内容	備考
5 ~ 15 °Cでの保管・流通につとめます(図1)。	<ul style="list-style-type: none"> ・20 °Cで花の萎れ、褐変が促進します。 ・0 °Cで葉の黄変・枯れが促進します。
森の舞姫、アルタでは収穫後に、0.2mM(ミリM)STS溶液で1晩(8~16時間)水揚げします(図2)。	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫後の花卉の萎れ、褐変、葉の黄変・枯れを抑制します。 ・品種(系統)により効果に差があります。 <p>森の舞姫、アルタ(サ系) : 効果有り 森の妖精、蒼い風(種間交雑種): 効果弱 イーハトヴォ(イヅ系) : 効果なし</p>

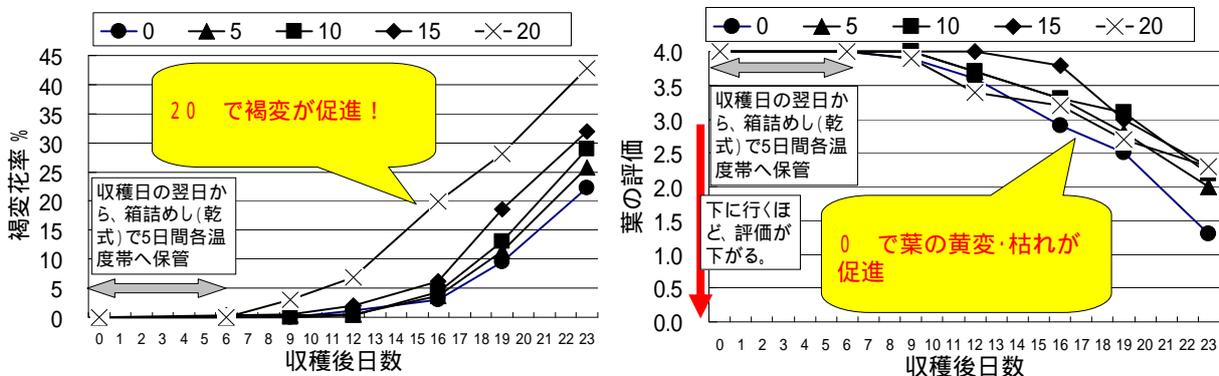


図1 保管温度による褐変花率、葉の評価の推移(左:褐変花率、右:葉の評価)

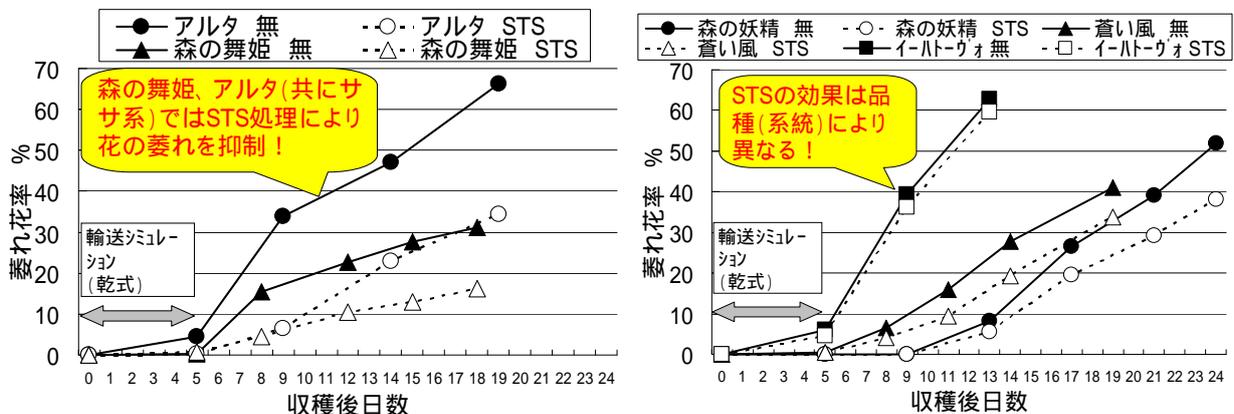


図2 STS処理による萎れ花率の推移(左:ササ系品種、右:エゾ系、種間交雑種)

【STSとは?】

チオ硫酸銀錯塩の略で、エチレン受容体に作用しエチレンの結合を阻害する作用阻害剤。カーネーション、宿根カスミソウなどエチレン感受性の高い花などで広く使用されている前処理剤。

【2 留意事項】

- 1 今回、試験した以外の品種では、STS処理効果は別途、確認試験が必要です。
- 2 廃液処理はメーカーの指導に従うようにしてください。

【3 効果】

花持ち性が高まり、切り花りんどうの評価が向上します。

【4 適応対象】

りんどう生産地の技術指導者